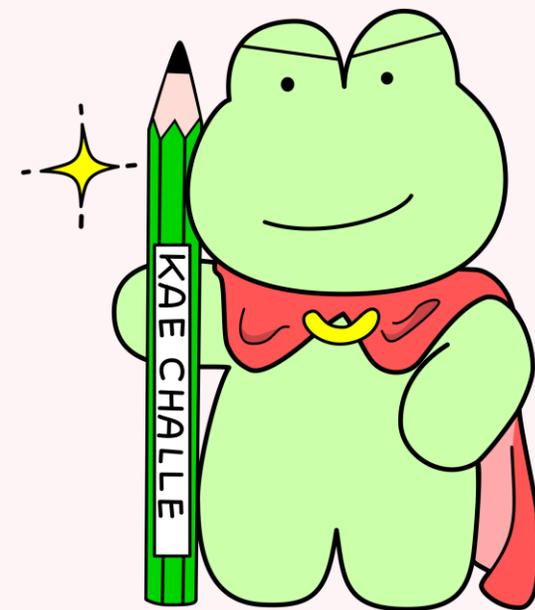
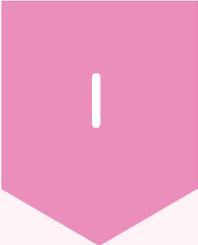


福島市職員 ひとり1改善・1改革運動 「かえるチャレンジ」



令和6年7・8・9月分
月間賞 受賞一覧





《改善》乳幼児集団健診（1歳6か月児、3歳児） における事前予約制の導入

〈取組内容〉

福島市子育てアプリ「えがお」から事前予約できるようにした。

〈効果〉

- ・受付前から順番待ちをする必要がなくなった。
- ・会場での滞在時間は受付した順番に関わらず1時間～1時間30分程度に短縮された。
- ・受診するお子さんが事前に分かるため、カルテの準備や、継続してフォローしているお子さんに対して適切に対応できるようになった。
- ・健診担当者以外の職員が急に対応することがなくなった。

《改善》 発想の転換～説明会の業務委託で市職員と保育施設職員の負担軽減～

〈取組内容〉

保育士の「処遇改善等加算制度」の説明会を市職員が行っていたものを保育業界に特化した会社に業務委託した。

〈効果〉

- ・ 難解な制度だが、分かりやすい説明で市職員と保育施設職員の双方の理解が促進された。
- ・ 保育施設側は書類作成が円滑に進むようになり、書類作成にかかる時間が短縮された。
- ・ 市職員は説明会開催と書類審査にかかる時間が短縮された。

《改善》 財務会計（契約管理）システム内製化 （入札関係業務における書類・資料等作成）

〈取組内容〉

入札業務で使用する各種資料を一括作成できるエクセルツールを作成した。既存システムから出力した一覧データをそのツールに取り込むと一括で書類が作成される。

〈効果〉

- ・ 業者によるシステムのカスタマイズが不要で資料のレイアウト等を柔軟に修正できるようになった。
- ・ 資料作成作業が大幅に削減した。

《改善》 Access化による扶養親族調査の効率化及び調査精度の向上

〈取組内容〉

課税にあたって、扶養者に関する調査を行っているがExcelで行っていた管理をAccessに変更した。

〈効果〉

- ・ 20名の職員が長期間かけて行っているが、その進捗状況をすぐに確認できるようになった。
- ・ チェックなどの時間が短縮されて効率的に調査を進めることができた。
- ・ データの整理が容易にできるようになり誰が担当になっても正確に、効率的に進められるようになり、適正な課税につながった。

《改善》 答べんりんく及びスペースを活用した 議会事務のペーパーレス化・省力化

〈取組内容〉

議会の質問内容の周知、発言通告書の送付や担当部の割り振り等の連絡を紙配布からスペース（庁内グループウェア）に変更した。答弁内容などは「答べんりんく」を活用して最新の情報が確認できるので、答弁集の作成を取りやめた。※答べんりんく詳細 (株)ぎょうせい https://gyosei.jp/business/law/touben_linq/

〈効果〉

- ・ 発言通告書をリアルタイムに共有できるようになった。
- ・ コピーが不要となり、ペーパーレスになった。
- ・ 紙資料を受け取る手間がなくなり、時間の有効活用につながった。
- ・ 答弁集を作成するための待機時間、差し替え対応が不要になった。

《改善》 来所者が気が付きやすい 窓口レイアウトへの変更

〈取組内容〉

分かりやすい窓口となるように支所の窓口レイアウトを見直した。

- ・ 記載台を来所者の動線上に配置変更
- ・ カウンターに設置している申請書の案内表示を大きくしてイラストを付けたうえで申請書のキーワードを表記した。 （例）引越し・保険証 等
- ・ バリアフリーを意識して座れる記載台を入口付近に配置した。

〈効果〉

- ・ 来所者が記載台や申請書類に気づきやすくなり、職員が声を掛けられる回数が減った。
- ・ 歩行が難しい方からも好評を得た。